

特定外来生物セアカゴケグモの発見と対応について

令和元年8月8日に伊賀良 北方 西の原において、毒を持つ『セアカゴケグモ』1個体が発見された。確認された状況は以下のとおり。

発見日時	8月8日 9時30分頃
発見場所	飯田市北方地籍 北東部（西の原）
確認個体数	成体メス 1個体
被害の有無	このクモにかまれた方、健康被害を訴えている方はいない

1 セアカゴケグモについて（詳細は別紙参照）

- ・『セアカゴケグモ』はメスが毒をもっている。攻撃性はないが、触るとかまれることがあるため、素手で捕まえたり、触ったりしないようにする。
- ・かまれた場合は、はじめは針で刺したような痛みを感じ、やがてかまれた部分が腫れて赤くなる。悪化すると全身症状（吐き気、腹痛等）が表れることもある。

2 セアカゴケグモ確認までの経緯

- ・8/8 10:10頃、飯田市内の住民から「側溝のグレーチングの裏にセアカゴケグモらしいクモを見つけ、複数の個体を捕獲した。」と飯田市役所に連絡があり、市職員が受け取りに行った。
- ・8/8 14:30頃、飯田市及び南信州地域振興局の職員が、発見箇所周辺において調査した結果、別の成体は確認できなかった。
- ・8/8 16:20頃、長野県環境部自然保護課が環境省信越自然環境事務所に、第一発見者により捕獲されたクモを持ち込み、種の同定を依頼。
- ・8/9 12:20頃、環境省が依頼した専門機関によりクモ5個体を調べた結果、1個体がセアカゴケグモの成体のメスであることを確認。なお、残り4個体は別種と判明。
- ・8/9 15:20頃、長野県と飯田市の連名により長野県からプレスリリース。

3 セアカゴケグモ確認後の飯田市の対応

- ・8/9 15:55頃、市内全保育園幼稚園に注意喚起の一斉メール（子育て支援課）
- ・8/9 16:10頃、市内全小中学校に注意喚起の一斉FAX（学校教育課）
- ・8/9 児童館については学校教育課から直接連絡
- ・8/9 18:00 鼎3地区役員（切石・上山・一色）に対し、現状報告と地区回覧の実施依頼
- ・8/11 19:00 北方会館にて地元説明会を開催。地区回覧の実施依頼
- ・8/10～8/12 終日 市民からの問い合わせ対応のため職員待機（環境課）
- ・（予定）広報いいだ9月15日号で情報掲載し注意喚起

4 その後の経過

- ・発見連絡や問い合わせなし（8/23 現在）

組合回覧

令和1年8月9日
1 飯環第 348 号

_____地区にお住まいの皆様

飯田市環境課

毒をもつクモ（セアカゴケグモ）にご注意ください。

令和元年8月8日に伊賀良 北方 西の原において、毒を持つ『セアカゴケグモ』1個体が発見されました。

確認された状況は以下のとおりです。

発見日時	8月8日 9時30分頃
発見場所	飯田市北方地籍 北東部（西の原）
確認個体数	成体メス 1個体
被害の有無	このクモにかまれた方、健康被害を訴えている方はいません。

『セアカゴケグモ』はメスが毒をもっています。攻撃性はありませんが、さわるとかまれることがありますので、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください。

かまれた場合は、はじめは針で刺したような痛みを感じ、やがてかまれた部分が腫れて赤くなります。悪化すると全身症状（吐き気、腹痛等）が表れることもあります。

通常は、数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することもあります。

発見した場合には、家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、熱湯をかける、靴で踏みつぶす等の方法で駆除してください。また、発見した状況などを南信州地域振興局環境課に詳細をお伝えください。

クモの詳しい情報は裏面に記載してありますので、ご一読ください。

＜クモに関する問い合わせ
および発見情報連絡先＞
南信州地域振興局 環境課
電話 0265-53-0434

＜本通知に関する問い合わせ先＞
飯田市役所 環境課
電話 0265-22-4511 [内線 5463]

特定外来生物「セアカゴケグモ」

長野県環境部自然保護課

1 セアカゴケグモの特徴

和名：セアカゴケグモ

原産地：オーストラリア

特徴：成熟したメスの体長は、約7～10mm。全体が黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条がある。毒を有するのはメスのみであり、オスは無害である。

(オスの体長は約3.5～6.0mm。)



今回確認された個体（背側）

2 日本でのセアカゴケグモの確認状況

青森県、秋田県、長野県を除く44都道府県で既に確認されている。

港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性が高い。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが人為によって運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大されたものと考えられる。

3 セアカゴケグモの注意点

・セアカゴケグモは、日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の窪みや穴、裏側、すき間に営巣する。

(例：自動車、プランターの底、室外機周辺、グレーチング裏、自販機の下 等)

- ・セアカゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、触らないようにすること。
- ・駆除方法は、家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）のほか、熱湯をかける、靴で踏みつぶす等の方法がある。
- ・物陰に潜んでいたり、卵もある可能性があるため、発見箇所の周囲にも注意が必要。

4 咬まれた場合の症状

- ・咬まれると、はじめは針で刺したような痛みを感じ、やがて咬まれた部分が腫れて赤くなる。悪化すると全身症状（吐き気、腹痛等）が表れることもある。
- ・通常は、数時間から数日で症状は軽減するが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがある。

※咬まれた場合は、重症化することもあるので、速やかに医療機関を受診することが必要。

※血清開発後の死亡例はありません。

「特定外来生物」

外来生物法では、外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害の防止を目的に特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。セアカゴケグモについては、人の生命又は身体に関わる被害があることから、特定外来生物に指定されています。